

4 1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

タブレット PC と手書きノートそれぞれを使用することの長所を活かしながら、国及び市の施策として導入するデジタル教科書（学習者用・指導者用）を日常的に活用する。また、様々な教科において「調べる」「意見交換する」「まとめる」「発表する」など、具体的な場面での活用を職員一人一人が意識し、ICT 機器を活用した授業改善に取り組む。また、クラウド上で学習コンテンツを活用した家庭学習を推進する。

2 GIGA 第1期の総括

一人一台端末の導入により、リモートでの授業及び会議の定着が進み、コロナ禍においても学びを継続することができた。しかし、活用が進む中で、複数学級が同時に使うと動作が遅くなり、使いにくいという声が現場からあがった。

端末の利用については、校内の ICT 利活用推進委員が中心となって定期的に研修を進めてきた。AI 型ドリルを活用した家庭学習についても検証を進め、効果的な課題の出し方や利用方法について共通理解を図ることができた。

校務支援ソフト導入時に苦労した部分もあったが、ICT 教育指導員の尽力もあり、現在は校務 DX チェックリストの改善も進んできた。

3 1人1台端末の利活用方策

- ・ 全ての児童生徒の学びの保証のために

AI ドリルやデジタル教科書、共同作業におけるコミュニケーションツールの活用を推進することによって、児童生徒の特性や要望に合わせた学習環境を提供していく。

- ・ 1人1台端末の積極的利活用を推進するために

各校に1名いる ICT 利活用推進委員が中心となって端末や学習ソフトの定期的な校内研修を進める。

また、市教育委員会から ICT 利活用推進委員を通して必要な情報を市内全教職員へ周知する。上記2点の方策を通して、ICT 研修を受講する教員の割合 100%を目指す。